



広重版画より 三島 朝霧

第2419回例会

2025.5.8晴

司会

杉崎亮慈君

ロータリーソング

「我等の生業」
指揮 柴崎恵子君

会長挨拶

会長 鈴木正二君

4月30日から5月3日までの3泊4日で、会員13名家族5名計18名で苗栗RCとの合同台南旅行へ行ってきました。4日間同じ豪華バス(苗栗の会員)に苗栗RCの方も乗り、同じホテルに泊まって交流を重ねました。先方は人の入れ替わりもあったので多くの人と会うことができました。向こうでお礼の挨拶でも言ってきましたが、「本当に本当にお世話になりました、ありがとうございました」というのが本心です。ここ数年の会長幹事が若いので食事の時盛り上がり、よく食べよく飲みいささか疲れました。よく言うアルコールの無理強いなんかはなく、言葉は通じにくいのですがスマホを使って翻訳で説明してくれていました。台南では八田與一の烏山頭水庫(うさんとうだむ)や住居、銅像は印象的でした。台北の繁華街は本当にびっくりするほど開発されていて経済力・消費力の高さを痛感しました。台北から台南をバスで往復するというのは移動時間が長く疲れ気味でしたが、若いメンバーは食事の後も連夜繰り出して交流を深めていました。年寄り組は近くの夜市に行く元気が残っていませんでした。翻って、彼らが三島に来た時どんなおもてなしができるのか、日本を広く回りたいという希望の時どこまで対応するのか、できるのかを慎重に考えておく必要があるなと思いました。遠くに心のつながった仲間ができた喜びを感じた旅でした。滞在中、中国が攻め込んでこなくてよかったと思います。



“こんにちは、ようこそ”

ゲスト NPO法人みしまびと理事長 山本希さん
鏡 光隆さん(杉崎君・関本(文)君・前田(博)君・勝侯君のゲスト)

出席報告

	出席総数	出席率	メ ー ク ッ ク	修 出 席 正 率
前々回	41/49	83.67%	42/49	85.71%
今回	33/46	71.74%	会員総数	52名

欠席者 秋元君、秋山君、芦川君、上野君、勝侯君、須田君、諏訪部(照)君、千葉君、野田君、橋本君、平出君、古屋君、和田君

幹事報告

幹事 加藤憲勝君

- 1.本日の例会、卓話は杉崎亮慈君のゲストスピーカー、NPO法人みしまびと理事長、山本希様です。よろしくお祈いします。
- 2.苗栗RCとの合同旅行について
4月30日より5月3日まで、会員とその家族、総勢18名で参加してきました。苗栗の皆さんには大変な歓迎を受け、朝からホテルに帰るまで、毎日大変お世話になりました。今後ますます交流を深める布石となる旅行であったことをご報告いたします。
- 3.理事会での決定・承認事項
パスト会長会議を5月22日の例会前、11:30より開催します。よろしくお祈いします。
- 4.親睦家族例会の出欠は本日までです。
- 5.次回例会は5月18日(日) 親睦家族例会
広小路ウェアハウス12:00
その次は22日(木) 通常例会 呉竹 12:30 卓話 小塚 英樹君
です。よろしくお祈いします。



スマイルボックス

- ◆鈴木(正)君、台湾旅行から帰ってきたらゴールデンウィークで子・孫たちが集まっていました。高校生2名、小学生2名、5歳1名、計5名で1家族は集まれません。うるさいうるさい!
- ◆栗原(康)君、先日横峯さくらさんとラウンドする機会がありました。とても勉強になりましたので、次回のコンペが楽しみです。ちなみにツアーを子連れで回っているようでとても大変だそうです。スポンサー左胸が500万、左肩が600万だそうです。余裕のある方、応援してやってください。
- ◆窪田君、川名さん、テーブルお世話いただきありがとうございます。川名さんの注文を宜しくお願いします。
- ◆赤池君、富嶽おなぶで家族一同ゆったり過ごしました。部屋風呂、貸切風呂、大浴場を全て楽しみました。ありがとうございます。
- ◆木村君、4月、5月は休みがちですみません。息子のあいさつ廻りと重なってしまいました。6月は休まずに出席致します。
- ◆加藤君、皆様、スマイルをお願いします。車を買った、家族が増えた、メディアに出演した、誰かにお礼を伝えたい、バッジを忘れた、何となく!なんでも良いのでお願いします
- ◆仲田君、貸し工場に店子が決まりました。不労所得はたまらせんね、という事でスマイルします。
- ◆森藤君、両替していただきありがとうございます。
- ◆渡邊(聡)君、本日、三島市民親睦ゴルフ大会に参加しました。天気も良くメンバーにも恵まれ楽しいゴルフでした。ハンディがまらずネットスコアは良くありませんでしたが例会に間に合った事がなにより嬉しいです。11日にロータリーゴルフコンペがありますが、加藤幹事とのハンディは3-5でお願いします。
- ◆ゴルフ同好会、鈴木年度 第7回ゴルフコンペを4月27日(日)新沼津カントリークラブにて開催しました。優勝 平出さん、準優勝 栗原さん、3位 伊丹さんでした。次回第8回は、5月11日(日)朝霧ジャンボリーゴルフクラブにて開催します。

卓 話

関わりたくなる組織づくりへの挑戦

NPO法人みしまびと理事長 山本希さん

「みしまびと」10周年の節目に、皆さんの前でお話する機会をいただき、心から感謝します。今回は、私たちが10年取り組んできた活動が、いまどのように地域に広がり、20~30代の若者たちがどのようにまちと関わり始めているのかを「関わりしろ」というキーワードをもとにご紹介しました。

■キーワード「関わりしろ」について

「関わりしろ」は造語で、「関わる“のりしろ”」を意味します。完成されたものではなく、“自分も関われる余白がある”こと。誰もが「自分ならこうしたい」と思える、関わるチャンスや入り口を示しています。

■活動のきっかけと原点

10年前、映画制作プロジェクトに参加したことがきっかけで、みしまびとに関わり始めました。現場で出会ったの

は、本気でこの地域のために動く地元の経営者の皆さんの姿。特に、大先輩の方々が「若い人たちが頑張ってるから」と活動の協賛金集めに奮闘してくださった姿、また一世代上の先輩方が常にみんなを鼓舞し続けプロジェクトの熱量を高めてくださった姿に感銘を受け、「10年後、こうなりたい」と思ったのが私の原点です。

■みしまびとの活動

みしまびとは、「地域の未来をつくる人をつくる」を掲げ、映画制作後は「挑戦」する人の育成と、それを「応援」する人を増やすことを目指し、2019年に「みしま未来研究所(みらけん)」を立ち上げました。旧中央幼稚園を活用したこの場所では、コワーキング、レンタルスペース、カフェバーを運営。全員本業を持ちながら関わる中で、6名の雇用を生み、ギリギリながらも黒字運営を続けています。

■まちの変化と関わりしろ

みらけんの誕生以降、まちには多様な活動スペースが生まれ、日常的に出会いや新たな企画が生まれる場が広がっています。最近では、20代の若者たちが「応援してくれる人が見えていたからやろうと思えた」と語り、実際に開業する例も出てきています。関わりしろがある「場」や「プロジェクト」が多様にあることで、自分の暮らしが地域活動と接続され、コミュニティが生まれ、応援する・される関係性が育ちます。その結果、挑戦できる土壌が生まれ、まち全体の活力につながっています。こうした流れは国の地方創生政策ともリンクし、「関係人口」という言葉で注目されています。三島でも、外から継続的に関わる人たち(祭り参加者、イベント支援、デザイン提供など)が増えており、元々まちにある資源の「関わりしろ」をひらくことで、新たな担い手を生み出しています。

■課題

一方で、こうした共感型の関わりには「行動の責任」「継続性の設計」といった課題も感じています。義務でも報酬でもない関わりを、どう継続させていくのか? 私たちは、「ただ楽しいだけ」ではなく、「責任ある挑戦」も支えられる組織でありたいと思っています。それは、ここにいらっしゃる経営者の皆さんのような、本気でまちに「投資」をしてきた先輩方の背中から学んだことです。問い続けること。「これは本当に地域の誰かのためになっているのか?」「自分たちがやる意味は何か?」それを私たちは、これからみんなで考え語り合いながら、次の10年を進んでいきたいと思っています。

■最後に

私たちは、まちの中に「関わりしろ」をつくり続けることで、挑戦したい人が育ち、応援する人が増えていく社会を目指しています。5月25日には、その実践として、鎌倉古道で歩行者天国イベント「CHEERS!MISHIMA~まちなかで乾杯を~」を開催します。たくさんの関わりしろがある今の三島の楽しさを体感できる一日になるので、ぜひ足を運んでいただけたら嬉しいです。

最後に大切にしている言葉を紹介して、締めくくります。

まちづくりは、まちを好きな人たちの手で行う。

正しいことではなく、楽しいことを。

それができる環境に感謝と敬意をもって。

この度は貴重なお時間をいただきありがとうございます。

これからも、応援よろしくお願ひいたします。

※会員慶事は次号に掲載します。

(週報担当:前田博利)